

桑野造船株式会社 〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL: 077-573-8001 FAX: 077-573-8002
URL: http://www.k-boat.co.jp E-mail: kuwano@k-boat.co.jp

秋の開催になって初めての国体が終わりました。新しい話題も多くありました。桑野社員も総出の様で、大会施設設置と撤収、配艇場でのメンテサービス、展示ブース、艇の輸送等々で大忙しでした。さらには選手・監督で出場した社員2名が優勝できたのは嬉しい限りです。おまけに私もネット中継の解説をやるはめにもなりました。

しかし、ボート界にとってはこんなにビッグイベントなのに、マスコミの扱いは他の人気スポーツの陰になって物足りなく感じたのは私だけでしょうか。ローイング・スポーツを発展させるためには更に新しい工夫が求められているようです。【古川】

未来に向かって進化

- お客さまの役にたつ存在になる -

- * 品質 品質、デザイン、価格の総て、ヨーロッパ艇を超える。品質向上でお客さまの期待に完全に応える。
- * 挑戦 仕事のやり方を変え、時代にあった会社になる。新技術、新工法にたえず挑戦。
- * スピリット 考え過ぎずやってみる。最大の功である時間を短縮。クルムはその日、その場で処理。

国体と規格艇配艇

国体とインターハイは主催者からの規格艇配艇により開催されています。配艇制度はいろいろな意見がありますが、広く全国から集まり、公平にレースをするためには捨てがたいシステムです。特有の項目を整理してみました。

今回のような海水では金属部品の電気化学腐食（電蝕）が進みますので、水洗を念入りにする必用があります。特にシートレール下部、リガー取り付け部などの炭素繊維・アルミ・ステンレスの異金属が触れあい、塩水が溜まりやすい箇所は起こりやすくなります。

今回使用した舵手付クオッド艇は新しい素材であるプリプレグ炭素繊維を使った艇です。軽量と高剛性が特徴です。また小型のフィン付属の舵は抵抗を減しながらも舵の切れが良いの特徴です。いかがでしたか。

残念ながら、取り付けネジを締め付け過ぎるトラブルが絶えません。艇体はFRPですから、強く締めたら凹むのはどうしても避けられません。工具はスパナではなくドライバー締付けで充分です。

規格艇はFISAの重量規定より少し大きく設定して、性能と価格とを考慮した普及仕様です。桑野としても可能な限りの性能向上に努めてきました。改めて国体参加関係者にはご意見を伺う予定です。その際はご協力よろしくお願いたします。

良いボートコースは選手のひと声で その3【岩佐】

<円筒ブイか丸ブイ（球型ブイ）か> ブイに関して、どちらを選択してもいいことになっていますが、どちらも一長一短があります。漕手からすれば、見やすく漕ぎやすければいいのですが、ウレタン系の円筒ブイ 色あせ風化し角が欠けていきます。丸ブイ 色あせ空気が抜ける恐れがあります。円筒ブイは生地が白ですので、どんな色にも塗ることが出来ます。丸ブイは生地の色が赤と黄しかありませんし、塗装ができません。

製作上の手間、収納方法、単価、等々色々考えますと、どちらも決めがたい難しさがあります。近年は丸ブイが主流になっていますが、円筒ブイの方が面積が大きく見えることは確かです。両方の長所を兼ね備えたブイが見つかるとうれしいのですが、さて選手の皆さんはどちらが見やすく漕ぎやすいでしょうか。

話は少しそれますが、ブイが水面下に沈んでいるコースがたまにあります。これではブイの役目をなしていません。さりとして、でっかいブイがついていても、良くは見えますが、ぶついたら沈してしまいますから、規定では15cmとなっています。たかがブイ、されどブイ、難しいですが選手の方の身になってのコース作り、現役ボートマンが作っているボートコースは当社だけです。

カナディアン用エルゴ

コンセプト2社のローイングエルゴメーターを一部改造し、カナディアンカヌー用のエルゴを作りました。台部分は漕手に合わせて足置き位置を調節できるようになっています。



おすすめ商品

***Dabblor オール** （スカルオール1セット 税込¥36,750）

Dabblor オールのシャフトは90%がカーボン、また細かな仕様を1種類に統一し、購入時の煩雑さをなくしたお買得オールです。もちろんレースでも使用していただけますが、練習用に、またはマイオール用としても最適です。

***Expert オール** （スカルオール1セット 税込み¥120,000・3年保証付）

Expert オールはシャフトの直径を30%細くし、空気抵抗を軽減した上級者向けのオールです。発売開始から2年がたち、安定した品質の製品をお届けできるようになりました。レースで上位を狙う選手へおすすめします。



BOAT TIMES の配信停止をご希望される方は、お手数ですがFAX（077-573-8002）又はE-Mail（kuwano@k-boat.co.jp）で当社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート関係者へお渡しをお願いいたします。